

集中講義

「微分位相幾何学特選」

「多様体論通論（修）」

「幾何学特殊講義 F III（博）」

西納 武男 講師
(立教大学 准教授)

* 期間・時間：

10月24日（月） 13：00～16：00

10月25日（火）～10月27日（木）

15：00～18：00

* 講義題目：「多様体の退化と正則曲線」

* 内容：複素多様体上の正則曲線を調べることは数学の様々な場面で現れ、膨大な研究が積み重ねられている。この講義では、調べたい複素多様体をより簡単な図形の集まりに変形させることにより正則曲線を構成する。こうした方法はトロピカル幾何と呼ばれる組み合わせ論的な分野の出現から盛んになったが、ここでは障害付きの変形理論と融合することにより、初等的な方法で強力な結果が得られることを、アーベル曲面上の正則曲線を主な例として解説する。また、トロピカル幾何およびトーリック多様体について必要な部分は解説する。

* 談話会： 10月24日（月） 16：00～

「複素多様体の退化と正則曲線」

* 場所： 川井ホール